

平成19年度 施策評価表

所属 28200000

教育委員会 スポーツ課

施策	2066 スポーツ事業						
区分							
対象	青少年、高齢者、障害者など439,942人(18年4月1日現在、外国人含む)						
施策意図	多様なスポーツの機会を提供し、区民が楽しくスポーツを続けられるようにする。						
現状と課題	人口構造が少子高齢化に向かう社会環境においても、区民の体育・スポーツへの関心度は至って高く、各世代の多様化したスポーツニーズに即したサービス提供は必須である。今後、更に創意・工夫を加え、効果的・効率的に事務事業を執行し、あらゆる世代が生涯を通じてスポーツを楽しむ「生涯スポーツ社会」の実現に努めなければならない。						
成果指標	1: スポーツを楽しんでいる区民の割合(マーケティング調査) 2: 区・体育協会主催及び区後援の全スポーツ事業の延べ参加者数 3: 区人口比(全事業延べ参加者数/区人口×100)						
目標達成状況	成果指標1 [%]	予定	平成17年度	平成18年度	平成19年度		
		実績	28.00	28.30	29.00		
	成果指標2 [人]	予定	300,000.00	320,000.00	320,000.00		
		実績	288,636.00	286,962.00			
	成果指標3 [%]	予定	69.76	72.74	72.52		
		実績	65.60	65.23			
	トータルコスト (千円)	予定		126,668	161,257		
		実績	185,257	152,602			
	施策の位置付け	区の関与度合	区中心/スポーツ振興法に基づき、広く区民が自主的かつ積極的に参加できるような事業を実施し、指導者の養成及び資質向上を図っていくことは区の責務である。				
		区民ニーズへの貢献	大きい/多様なスポーツ参加の機会が提供され、青少年から高齢者まで多くの区民がスポーツを楽しんでいる。区民の健康保持・増進を図っている。				
成果向上の必要性		向上必要/健康・体力づくりや生きがいづくりへの区民のニーズは高まっている。また、身近な地域における運動・スポーツ活動機会の充実が求められている。					
成果向上の容易性		容易/少子高齢社会の中、各世代や障害者等のニーズに応じた事業実施に創意・工夫し、より身近な場所でスポーツに親しめる環境を整備していくことで効果が向上していく。					
位置付け総合評価	拡充/区民の健康・体力づくりやスポーツに対する需要は高く、生涯スポーツ課・体育施設指定管理者や体育協会・体育指導委員等が、創意工夫を凝らした事業展開を図りスポーツサービスの充実に努めている。しかしながら、多様化した区民ニーズを必ずしも満たしているとは言えないのが現状であり、今後はさらに区が積極的に働きかけ、誰もが(子どもから高齢者まで各年齢層や女性・障害者等)、身近な地域で、個々の好みや目的に応じて運動やスポーツ活動に慣れ親しむことができる「生涯スポーツ社会」の実現に向けた取り組みを充実していかなければならない。						
施策目的達成のための事務事業	事業コード	名 称			トータルコスト(千円)	総合評価	
	206613	総合型地域スポーツクラブ育成			18,432	6	
	206614	スポーツ教室			31,828	6	
	206602	スポーツフェスティバル			20,635	5	
	206603	区民スポーツ大会			20,718	5	
	206604	区民体育大会			22,192	5	
	206605	スポーツ指導員養成			4,612	5	
	206607	地域スポーツ活動推進			4,780	5	
	206610	文化・スポーツ活動費助成			12,283	5	
	206611	体育協会助成			2,637	5	
206606	体育指導委員			14,485	4		

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 28200000

施 策 2066

教育委員会 スポーツ課

スポーツ事業

期 間 平成17年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0	0		
		都道府県支出金	(2)		0	0		
		地方債	(3)		0	0		
		その他	(4)		105	8,765		
		一般財源	(5)		120,749	146,752		
	直接費	事業費	(6)		62,432	83,350		
	職員人件費	人件費	(7)		58,386	70,520		
		再雇用職員分	(8)		0	1,647		
		(職員数：賦課)	(9)		7.11	8.20		
		(職員数：配賦)	(10)					
		職員数合計(9)+(10)	(11)		7.11	8.20		
	間接費	(12)		0	0			
	調整額	(加算)減価償却費	(13)		0	0		
		(加算)金利	(14)		0	0		
		(加算)退職給与引当	(15)		5,850	5,740		
		(控除)コスト対象外	(16)		0	0		
		(控除)雑収入	(17)		0	0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		5,850	5,740			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)		126,668	161,257			
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0	0			
		都道府県支出金	(21)	0	0			
		地方債	(22)	0	0			
		その他	(23)	25,732	8,701			
		一般財源	(24)	151,875	138,091			
	直接費	事業費	(25)	104,800	76,015			
	職員人件費	人件費	(26)	72,807	70,777			
		再雇用職員分	(27)	0	0			
		(職員数：賦課)	(28)	9.11	8.81			
		(職員数：配賦)	(29)					
		職員数合計(28)+(29)	(30)	9.11	8.81			
	間接費	(31)	0	0				
	調整額	(加算)減価償却費	(32)	0	0			
		(加算)金利	(33)	0	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	7,650	5,810			
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0			
		(控除)雑収入	(36)	0	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	7,650	5,810				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	185,257	152,602				

施策名	スポーツ事業
-----	--------

担当課： 生涯スポーツ課

施策の達成状況

【達成度評価】

各事務事業については、当初の目標を概ね達成している。
「かつしか地域スポーツクラブ」は育成検討委員会の円滑な運営により、平成20年度の設立に向けた具体的な取り組みとして、クラブの育成指針を策定するとともに、第1号モデル地区を選定し、啓発研修会の開催や、地域住民を中心とした設立準備会の設置を促すこととなった。

また、今後、本区のスポーツ振興の柱となる「葛飾区スポーツ振興計画」においては、策定委員会や庁内検討委員会の中で、基本的考え方やその背景・方向性などについて十分に審議するとともに、「かつしか地域スポーツクラブの育成」について明確に位置づけるとともに、本区の生涯スポーツ社会実現の基盤整備として、平成19年度中の計画策定の土台と骨組み造りに取り組んできた。

構成事務事業の次年度方向性

【次年度方向性の考え方】

「葛飾区スポーツ振興計画」を平成19年度中に策定する。
『区民が身近な地域で、「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」自分にあった形でスポーツ活動に親しみ、スポーツを通じた健康で元気な葛飾づくりを推進する』という基本理念の下、

1. 子どもの心と身体の健康を育み、基礎体力の向上を目指す。
2. 区民のスポーツ参加機会を拡充する。
3. スポーツ実施率50%以上を目指す。

を目標に掲げ、そのための計画の進行及び企画立案・遂行にあたっては、「ひと」「うつわ」「システム」の3つの視点をもって計画を策定し、今後の生涯スポーツ振興の推進に取り組んでいく。

総合型地域スポーツクラブ育成については、モデル地域における啓発研修会の開催やクラブを支える人材を育成し、地域住民を中心とした設立準備会を設置することで、平成20年度の設立を明確なものにしていく。

その他の事務事業については、多様化する区民ニーズを的確に捉え、効果的かつ効率的なプログラムサービスを提供していくことで、本区のスポーツ振興を推進していく。